

H.モーターは、新型コロナウイルス感染症の治療研究を行う国立国際医療研究センターを支援するため、エンデバー・センターセコンド オートマティック コンセプト “ブルーホライズン” “日本限定モデル”のプロトタイプ 1 本を販売し、その売上金の一部を寄付致します。

スイス・シャフハウゼンを本社に置く H.モーターは、日本限定モデル『エンデバー・センターセコンド コンセプト “ブルーホライズン”』のプロトタイプ(非売品)を販売致し、新型コロナウイルス感染症対策の支援として同ウィルスの治療や研究にあたる『国立国際医療研究センター』へ売上金の一部を寄付いたします。

日本限定モデル『エンデバー・センターセコンド コンセプト “ブルーホライズン”』は、ブランドとして今後の発展の核となる自動巻きムーブメント HMC200 を搭載。ダイナミックな曲線、流線的なラインが特徴の直径 40 mm のケースと、モーターの象徴である美しいグラデーションの“フュメ”ダイヤル（フランス語で煙の意）の組み合わせにより、クラシカルさとモダンさを絶妙に融合しています。日本限定モデルとして選択されたのは『ブルーホライズン』と命名された新しいブルーカラーをベースにロゴやインデックスを全て排したコンセプトデザインの文字盤が特徴で、まさに日夜新型コロナウイルス感染症の感染リスクと向き合いながら、医療機関や介護施設、福祉施設で勤務されている医療従事者や介護従事者等の皆さんに対し、敬意と感謝の気持ちを表すのにふさわしいモデルです。また H.モーター社 CEO エドゥアルド・メイラン氏からも感謝の気持ちをしたためたレターが付属いたします。この非売品プロトタイプを、2020 年 8 月 1 日より NX ONE 銀座にて発売致します。



エンデバー・センターセコンド・オートマティック コンセプト
ブルーホライズン日本限定モデル プロトタイプ

自動巻きキャリバーHMC 200、18K ホワイトゴールドケース、
直径:40.0 mm、厚さ:10.7 mm、ブルーアリゲーターストラップ
価格:2,950,000 円(税別)

寄付先：国立国際医療研究センター

国立国際医療研究センターは国立高度専門医療研究センターの一つであり、感染症・免疫疾患等に関する研究や高度総合医療を提供するとともに、医療の分野における国際協力や医療従事者の人材育成を総合的に展開しています。



H. モーザーは Heinrich Moser により 1828 年に創設されました。ノイハウゼン アム ラインフアルを拠点とするこのブランドは現在、約 60 名の従業員を擁し、14 つの自社製キャリバーを開発し、年間に 1,500 個以上の時計を製造しています。H. モーザーは、その姉妹会社である Precision Engineering AG (PEAG)を通じて、調速機構やヒゲゼンマイなどの部品を製造しており、これらは自社の生産に使用されるほか、パートナー企業にも供給されています。Precision Engineering AG は、2012 年にモーザーウォッチホールディングスに設立された独立企業であり、エスケープメント用の部品製造を専門としています。H. モーザーはモーザー一家の人間を名誉会長とし、Heinrich and Henri Moser 基金の代表に迎えるという荣誉に浴しています。Heinrich Moser の子孫たちに設立された Moser 基金は、一族の歴史を維持するために機能しており、Heinrich Moser 家が住まうシャルロットテンフェル城に併設の Moser 博物館に収蔵すべき昔のモデルの収集といった役目も担っています。時計製造に関するノウハウとこの分野での専門技術に裏打ちされた MELB Holding は H. モーザー、Hautlence という企業を擁するに至っています。MELB Holding は伝説的なジュウ溪谷を拠点とする家族経営の独立系グループです。

<http://h-moser.jp/>

H.モーザー 直営店

「NX ONE GINZA」

東京都中央区銀座 8 丁目 4-2 TEL.03-3573-7277 FAX.03-3573-7279

営業時間:11:00-19:00(火曜定休)

<http://www.nxone.jp/>

H.モーザー 正規輸入代理店

株式会社エグゼス

東京都中央区銀座 8 丁目 4-27 プラザ銀座ビル 6 階

TEL.03-6274-6120 FAX.03-6274-6121